

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社協和日成

コード番号 1981 URL <http://www.kyowa-nissei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 北村 眞隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務企画本部長 (氏名) 佐々木 秀一

TEL 03-3464-0121

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,861	9.4	383	272.5	454	181.3	278	—
25年3月期第2四半期	15,410	14.4	102	△28.2	161	△12.4	20	△76.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 325百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 19百万円 (△64.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	24.22	—
25年3月期第2四半期	1.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,560	10,342	49.8
25年3月期	20,136	10,120	49.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,232百万円 25年3月期 9,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	9.00	9.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,115	1.3	905	3.5	1,045	2.4	570	3.3	49.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	11,800,000 株	25年3月期	11,800,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	283,260 株	25年3月期	283,260 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	11,516,740 株	25年3月期2Q	11,517,159 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報、(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
(1) 受注高、売上高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済および景気動向は、政府および日本銀行による金融緩和策により、円安への動きや株価の上昇が進行した結果、輸出企業を中心とした企業業績の改善や非製造業における設備投資に持ち直しの動きがみられたほか、各種経済政策の効果が発現するなかで、所得や個人消費マインドも底堅く推移するなど、景気動向は緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、いまだ不安定な状態が続く欧州や中国経済の下振れ懸念、円安の影響による原材料価格の上昇に加え、来年4月より実施されることが決定した消費税率引き上げの影響など先行き懸念もあり、本格的な景気回復に向けて政府は難しい舵取りが続く状況となっております。

このような経済環境のもと当社グループにおきましては、激しい価格競争による厳しい受注環境の中、新築建物に関連した給排水衛生設備工事が大きく受注を伸ばしたほか、主要取引先であります東京ガス株式会社の設備投資計画による受注は好調を維持いたしました。また、ガス設備新設工事においても戸建住宅を中心に受注を順調に伸ばすことができました。この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高16,861百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益383百万円（前年同期比272.5%増）、経常利益454百万円（前年同期比181.3%増）、四半期純利益278百万円（前年同期は四半期純利益20百万円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

ガス工事業

ガス設備新設工事において、新築ガス化営業施策の継続的な推進や得意先ごとのニーズに対応した提案営業の定着化により、戸建・集合住宅ともに好調な受注を維持し、エネファームをはじめとした環境対応型機器の受注も増加したことに加え、集合住宅給湯・暖房工事につきましても、安定的な受注を確保することができました。また、ガス導管工事においては、北海道ガス株式会社エリアの受注は減少したものの、主要取引先であります東京ガス株式会社をはじめとし、静岡ガス株式会社や日本瓦斯株式会社など、ガス事業者の設備投資計画による受注は非常に順調のまま推移いたしました。この結果、売上高は13,736百万円（前年同期比7.7%増）、経常利益632百万円（前年同期比52.6%増）となりました。

建築・土木工事業

既築マンションをターゲットとしたリノベーション工事（雑排水管ライニング工事を含めた改修工事）において、大型案件の受注が少なく苦戦を強いられたほか、ケーブル関連保守工事の受注も減少いたしました。一方で、新築建物に関連した給排水衛生設備工事については、激しい価格競争が続くものの引き合い物件の増加と工期の徹底管理により大きく受注を伸ばしたほか、東京電力株式会社の設備投資計画による受注や工場施設関連の営繕工事も堅調に推移いたしました。また、ゴルフ場等のイリゲーション工事（緑化散水設備工事）の受注も堅調を維持したことに加え、前年度は失注した港湾局補修工事を受注するなど、売上高を伸ばすことができました。この結果、売上高は1,735百万円（前年同期比34.7%増）、経常損失98百万円（前年同期は166百万円の経常損失）となりました。

その他事業

エネリア静岡東において、一般ガス機器販売は販売競争の激化に伴いやや減少いたしました。リフォーム工事は各種キャンペーンを展開するとともにエネファームや太陽光発電の受注に注力し、前年並みの結果となりました。また、東京ガスライフバル西むさし株式会社においては、量販店やインターネット販売等との販売競争激化により、環境対応型機器を含む一般ガス機器分野では厳しい状況が続きましたが、季節ごとに実施するキャンペーンのほか、「設立5周年記念イベント」では特別会場を設置し、趣向を凝らした催しを実施したことに加え、販売促進活動のプロセス管理の強化や付加価値提案の徹底を継続的に実施したことにより、最重要戦略機種としているエネファームの成約や太陽光発電の設置については順調に推移いたしました。この結果、売上高1,353百万円（前年同期比1.0%増）、経常損失71百万円（前年同期は70百万円の経常損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末の20,136百万円に比べて2.1%増加し、20,560百万円となりました。これは、完成工事未収入金が987百万円減少しましたが、未成工事支出金が1,171百万円増加したことなどが主な要因であります。

負債合計は、前連結会計年度末の10,015百万円に比べて2.0%増加し、10,217百万円となりました。これは、工事未払金が942百万円減少しましたが、未成工事受入金が907百万円増加したことに加え、流動負債のその他に含まれております預り金が163百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産合計は、前連結会計年度末の10,120百万円に比べて2.2%増加し、10,342百万円となりました。これは、株式配当金の支払で103百万円減少しましたが、当第2四半期純利益を278百万円計上したことに加え、その他有価証券評価差額金が68百万円増加したことなどが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ131百万円減少し、4,049百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金は270百万円の収入（前年同期は867百万円の収入）となりました。主なプラス要因は売上債権の減少983百万円、未成工事受入金の増加907百万円などであり、主なマイナス要因は、未成工事支出金の増加1,171百万円、仕入債務の減少872百万円などです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動による資金は175百万円の支出（前年同期は1,887百万円の支出）となりました。主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出266百万円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動による資金は227百万円の支出(前年同期は1,075百万円の収入)となりました。主なマイナス要因は、長期借入金の返済による支出119百万円、配当金の支払102百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、主要事業における受注が順調に推移しており、今後の受注についても堅調であることが見込まれるため、平成25年5月17日付の「平成25年3月期 決算短信」で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,681,009	4,349,217
受取手形	568,471	657,487
完成工事未収入金	5,575,076	4,587,176
有価証券	15,594	20,440
未成工事支出金	2,239,653	3,411,612
商品及び製品	17,463	15,484
原材料及び貯蔵品	62,520	65,100
その他	824,743	925,437
貸倒引当金	△63,250	△54,226
流動資産合計	13,921,284	13,977,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,731,772	1,704,525
機械装置及び運搬具（純額）	16,783	23,850
工具、器具及び備品（純額）	80,428	106,280
土地	1,903,457	2,015,009
リース資産（純額）	21,387	22,421
その他	13,430	85,882
有形固定資産合計	3,767,259	3,957,968
無形固定資産		
のれん	100,017	90,925
リース資産	2,674	1,528
その他	28,518	28,516
無形固定資産合計	131,210	120,969
投資その他の資産		
投資有価証券	1,757,712	1,844,838
その他	651,230	750,599
貸倒引当金	△92,272	△91,965
投資その他の資産合計	2,316,670	2,503,473
固定資産合計	6,215,139	6,582,411
資産合計	20,136,424	20,560,142

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	131,385	201,159
工事未払金	4,782,230	3,839,749
1年内返済予定の長期借入金	239,592	239,592
リース債務	8,430	8,539
未払法人税等	212,074	228,257
未成工事受入金	848,281	1,755,712
賞与引当金	695,978	729,237
その他	793,595	1,122,353
流動負債合計	7,711,568	8,124,600
固定負債		
長期借入金	820,646	700,850
リース債務	16,833	16,607
退職給付引当金	996,746	1,038,058
役員退職慰労引当金	195,870	199,603
資産除去債務	38,742	39,173
その他	235,533	98,427
固定負債合計	2,304,372	2,092,719
負債合計	10,015,940	10,217,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	590,000	590,000
資本剰余金	1,918	1,918
利益剰余金	9,136,785	9,312,020
自己株式	△33,926	△33,926
株主資本合計	9,694,777	9,870,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	294,173	362,979
その他の包括利益累計額合計	294,173	362,979
少数株主持分	131,532	109,828
純資産合計	10,120,483	10,342,821
負債純資産合計	20,136,424	20,560,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	15,410,991	16,861,937
売上原価	13,692,878	14,897,332
売上総利益	1,718,112	1,964,604
販売費及び一般管理費	1,615,121	1,580,955
営業利益	102,990	383,649
営業外収益		
受取利息	2,466	1,938
受取配当金	14,206	16,543
受取手数料	20,467	23,577
不動産賃貸料	14,222	97,180
貸倒引当金戻入額	22,924	9,376
雑収入	12,919	17,638
営業外収益合計	87,208	166,254
営業外費用		
支払利息	1,103	5,446
不動産賃貸費用	12,798	45,369
支払手数料	5,235	35,706
持分法による投資損失	6,203	2,755
雑支出	3,400	6,456
営業外費用合計	28,742	95,734
経常利益	161,456	454,169
特別損失		
固定資産除却損	782	101
投資有価証券評価損	61,626	—
特別損失合計	62,409	101
税金等調整前四半期純利益	99,047	454,068
法人税、住民税及び事業税	81,519	214,329
法人税等調整額	19,874	△17,442
法人税等合計	101,394	196,886
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,347	257,181
少数株主損失(△)	△22,636	△21,703
四半期純利益	20,288	278,885

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,347	257,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,795	68,507
持分法適用会社に対する持分相当額	498	298
その他の包括利益合計	22,293	68,806
四半期包括利益	19,946	325,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,582	347,691
少数株主に係る四半期包括利益	△22,636	△21,703

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	99,047	454,068
減価償却費	60,859	83,006
のれん償却額	9,092	9,092
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△51,131	△9,330
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36,936	33,258
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,769	41,311
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,552	3,732
受取利息及び受取配当金	△16,673	△18,481
支払利息	1,103	5,446
有形固定資産除却損	782	101
投資有価証券評価損益 (△は益)	61,626	—
持分法による投資損益 (△は益)	6,203	2,755
売上債権の増減額 (△は増加)	1,966,642	983,695
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△791,795	△1,171,958
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△258	△600
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	385,562	907,430
仕入債務の増減額 (△は減少)	△705,458	△872,706
その他	142,294	△12,722
小計	1,166,282	438,099
利息及び配当金の受取額	18,673	20,481
利息の支払額	△1,031	△5,446
法人税等の支払額	△316,773	△182,296
営業活動によるキャッシュ・フロー	867,151	270,837
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△300,000
定期預金の払戻による収入	—	300,000
有価証券の取得による支出	△10,497	—
有価証券の売却による収入	28,163	10,500
有形固定資産の取得による支出	△1,920,045	△266,647
投資有価証券の取得による支出	△1,039	△1,192
投資有価証券の売却による収入	—	450
貸付けによる支出	△26,750	△5,840
貸付金の回収による収入	34,769	31,829
その他	8,080	55,604
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,887,319	△175,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200,000	—
長期借入金の返済による支出	△19,966	△119,796
自己株式の取得による支出	△165	—
リース債務の返済による支出	△2,757	△4,670
配当金の支払額	△101,823	△102,866
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,075,287	△227,333
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	55,118	△131,792
現金及び現金同等物の期首残高	4,066,703	4,181,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,121,822	4,049,217

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス工事業	建築・土木 工事業	その他事業			
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	12,748,416	1,288,898	1,339,114	15,376,428	34,562	15,410,991
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,530	1,530	△1,530	—
計	12,748,416	1,288,898	1,340,644	15,377,959	33,032	15,410,991
セグメント利益又は損失(△)	414,428	△166,122	△70,342	177,963	△16,506	161,456

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1)外部顧客への売上高の調整額は、工材販売手数料等の表示区分調整額34,562千円であります。

(2)セグメント利益又は損失(△)の調整額△16,506千円には、たな卸資産調整額△757千円、のれん償却額△2,717千円、連結調整及び全社費用△13,032千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ガス工事業	建築・土木 工事業	その他事業			
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	13,736,372	1,735,822	1,352,573	16,824,767	37,169	16,861,937
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,023	1,023	△1,023	—
計	13,736,372	1,735,822	1,353,597	16,825,791	36,146	16,861,937
セグメント利益又は損失(△)	632,337	△98,238	△71,214	462,883	△8,713	454,169

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1)外部顧客への売上高の調整額は、工材販売手数料等の表示区分調整額37,169千円であります。

(2)セグメント利益又は損失(△)の調整額△8,713千円には、のれん償却額△2,717千円、連結調整及び全社費用△5,996千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注高、売上高の状況

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

（単位：千円）

種類別	売上高	当期受注高	受注残高	前期繰越高
ガス工事事業	12,782,978	15,240,785	10,764,503	8,306,695
建築・土木工事事業	1,288,898	1,815,626	1,952,985	1,426,257
計	14,071,876	17,056,412	12,717,488	9,732,953
その他事業	1,339,114	1,394,682	81,095	25,527
合計	15,410,991	18,451,094	12,798,584	9,758,480

（注）ガス工事事業の売上高は、工材販売手数料等34,562千円含んでおります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

（単位：千円）

種類別	売上高	当期受注高	受注残高	前期繰越高
ガス工事事業	13,773,541	16,721,831	12,834,815	9,886,525
建築・土木工事事業	1,735,822	2,092,820	2,347,952	1,990,953
計	15,509,363	18,814,651	15,182,767	11,877,479
その他事業	1,352,573	1,408,925	98,681	42,329
合計	16,861,937	20,223,577	15,281,448	11,919,809

（注）ガス工事事業の売上高は、工材販売手数料等37,169千円含んでおります。